

10月26日(月)に開催された「第1回まちにぎWS」の様子をお伝えします。

～ 第1回WS概要 ～

開催日：平成27年10月26日(月)  
 場所：行田市商工センター 403研修室  
 時間：18:30～20:30  
 参加人数：28名  
 グループ数：6グループ



～ 第1回WSのプログラム ～

- 1.開会のあいさつ・趣旨説明
- 2.本事業の説明
- 3.質疑応答
- 4.閉会

～ WSの内容 ～

市では、平成25年度に策定した「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画」に基づき、住民主体のまちづくりを実現するため、まちづくりへの住民参画の場(まちにぎWS)を設け、様々な検討を重ねてきました。

今年度から、市の主要事業として、5カ年にわたる中心市街地のまち並み景観整備(ハード面)と賑わい創出に向けた仕組みづくり(ソフト面)に関する事業をスタートしました。

第1回WSでは、事業の目的や内容をはじめ、「市民が主体的に活動するまちづくり」の必要性について説明し、意見交換を行いました。



～ 質疑応答 ～

事業についてのご意見やご提案を参加者の皆様から多数いただきました。今後WSを運営していく上で、参考とさせていただきます。

～ 主なご意見・ご提案 ～

- ・女性参加者が少ないので工夫してPRしてほしい。  
 →多くの女性が参加できるように、引き続き努力いたします。
- ・住民主体組織を設立した後の目標は？  
 →市民が主体となったまちづくりに向け、大学、行政、住民が連携して取り組んでいきます。

～ 次回ワークショップの予定 ～

第3回 11月24日(火) 18時30分～20時30分  
 行田市商工センター 403研修室

11月9日(月)に開催された「第2回まちにぎWS」の様子をお伝えします。

～ 第2回WS概要 ～

開催日：平成27年11月9日(月)  
 場所：行田市商工センター 403研修室  
 時間：18:30～20:30  
 参加人数：20名  
 グループ数：5グループ

～ 第2回WSのプログラム ～

- 1.開会・あいさつ
- 2.概要説明
- 3.グループワーク・グループ発表
- 4.まとめ・閉会

～ WSの内容 ～

第2回WSでは行田市が抱える最重要課題である、その土地に住む人を指す「定住人口」の減少と、観光客や買物客など市外から目的を持って訪れる人を指す「交流人口」の減少について、どのような方法で解決していくかをグループに分かれて意見交換(グループワーク)を行いました。

そのなかで、定住人口が減少すると税収の減少に繋がり、公共サービスが低下する可能性があること、またイベント開催など、一過性による交流人口の増加を図るだけでなく、継続的に人を呼び込むことの必要性について、参加者の皆様と認識を共有しました。



～ グループワークの結果 ～

グループワークでは、【人口減少を止めるには?】と【観光客・交流人口を増やすには?】の2つのテーマについて、5つのグループに分かれてグループワークを行い、下記のとおり主な意見としてとりまとめました。

**テーマA** 【人口減少を止めるには?】

・Aグループ

子育て世代の女性の雇用機会創出に加えて、地域で子どもを預かってもらえるような環境整備を進めることで待機児童をなくすなど、子育て世代が安心して住めるようなまちにする。また、忍城や足袋作りの技術披露会等を当事者自らが情報発信し、行田の魅力アピールする。

・B,Cグループ(合同で議論)

企業を誘致して雇用の場を創出することや、屋台村のようなものをつくり、若者向けの店舗を増やすことで、若者の流出を防ぐ。

**テーマB** 【観光客・交流人口を増やすには?】

・Dグループ

観光資源に関わっている人とボランティアが協力し、観光資源をもっと盛り上げると同時に、観光PRを行い、足袋蔵など多くの観光資源を周遊できるような散策ルートを作成する。

・Eグループ

積極的にまちづくり活動を行っている人をまとめるなど、市民全体で観光客の誘致に取組み、綺麗で安全なまちづくりを実践し、観光客にまた行田市に来たいと思ってもらえるようにする。

・Fグループ

行田音頭や昔からの祭りなど、行田特有の文化を大切にするとともに、NPOや市民大学がPRを行い、実際の利用者・参加者の声を聞き、改善していくことで、市の魅力を増やしていく。

～ 次回ワークショップの予定 ～

第4回 12月14日(月) 18時30分～20時30分  
 行田市商工センター 403研修室



11月24日（火）に開催された「第3回まちにぎWS」の様子をお伝えします。

平成27年12月14日（月）に開催された「第4回まちにぎWS」の様子をお伝えします。

～ 第3回WS概要 ～

開催日：平成27年11月24日（火）  
 場所：行田市商工センター 403研修室  
 時間：18：30～20：30  
 参加人数：16名  
 グループ数：5グループ

～ グループワークの結果 ～

グループワークでは、【まちづくり活動への参加を増やすには？】と【まち並みはどうあるべきか？】の2つのテーマについて、5つのグループに分かれてグループワークを行い、下記のとおり主な意見としてまとめました。

**テーマC**【まちづくり活動への参加を増やすには？】

・A,Cグループ（合同で議論）  
 商店街で利用できる学割等をつくることで、商店街に学生など若者を呼び込み、まちの良さ・現状を知ってもらい、まちづくり活動参加へのきっかけづくりをする。また、市民に対しては行田ケーブルテレビを通してまちづくり活動を周知する。

・Bグループ  
 女性や若者のまちづくり活動への参加が少なく、イベントを開催しても地元住民が参加していないことから、にぎわいの創出を図るためには、より多くの市民が参加する必要がある。また、団体が各々で活動しているため同じようなイベントが重複しているため、各団体を1つにまとめるような組織づくりが必要である。

**テーマD**【まち並みはどうあるべきか？】

・Dグループ  
 空き店舗の増加はまち並みや景観を損なうため、各店舗の経営者は空き店舗をつくらぬよう、顧客のニーズを的確に把握するよう努力する。

・Eグループ  
 病院や商店の利便性を高めたり、近代化遺産を活用するためにNPOや事業者が中心となり、まちづくりに関するNPOの設立や商店街を活発にする活動を行っていくことが重要である。

・Fグループ  
 地元が連携して花いっぱい運動などの活動に取り組み、憩いの場をつくるなど景観を良くすることで来訪者の満足度を上げる。また、空き家に若者を呼び込めるよう自治会で話し合い、活用の仕組みをつくり、空き家をなくす。

～ 第3回WSのプログラム ～

- 1.開会・あいさつ
- 2.概要説明
- 3.グループワーク・グループ発表
- 4.まとめ・閉会

～ 第4回WS概要 ～

開催日：平成27年12月14日（月）  
 場所：行田市商工センター 403研修室  
 時間：18：30～20：30  
 参加人数：15名  
 グループ数：4グループ

～ 第4回WSのプログラム ～

- 1.開会・あいさつ
- 2.概要説明
- 3.グループワーク・グループ発表
- 4.まとめ・閉会

～ WSの内容 ～

第4回WSでは、これまでのWSで検討していただいた【定住人口】【交流人口】【住民参画】【まち並み】の4つのテーマの検討結果を報告し、参加者間で情報共有を図りました。  
 また、持続可能なまちづくりに向け、住民が主体となってまちづくりに取り組むことの重要性や、効率的かつ効果的なまちづくりの実現における、各団体をまとめる組織の必要性について、共有認識を図りました。

～ グループワークの結果 ～

【住民主体組織のあり方】をテーマに、4グループに分かれて行われたグループワーク結果の主な意見を、以下のとおりまとめました。

・A,Cグループ（合同で議論）  
 自治会やNPO法人など、個々の活動は活発ではあるものの、お互いの活動内容を把握していないことから、各組織をまとめた住民主体組織を設立することで、効果性・効率性を高める。また、新規団体が新たに設立された際は住民主体組織に追加することで、一体的なまちづくりを推進する。

- ・Bグループ
- 案1 年代別で新規団体を設立し、若者世代は活発な動きにより、様々な取り組みを実践していく。
  - 案2 まちづくり活動に積極的な人を集めて新規団体を設立し、既存のまちづくり団体との繋がりを強化する。
  - 案3 既存の団体を集約したまちづくり団体を設立し、地域特性を活かしたまちづくりを展開する。

・D,Eグループ（合同で議論）  
 まちづくりに興味のある人物による新規の住民主体組織（まちにお金落ちるような営利目的のまちづくり会社）を立ち上げる。

・Fグループ  
 幅広い年代、とりわけ若い人の住民主体組織への加入を促すため、まちづくりに係る授業を学校教育の一環として取り入れることで、小さいころから行田の歴史・まちづくりに触れる機会を創出し、まちづくりへの興味・関心を培う。

～ まちにぎワークショップについて ～

まちにぎワークショップは、平成28年度以降も引き続き実施いたします。  
 平成28年度は「住民主体組織の設置・検討」について、具体的に議論する予定です。



～ WSの内容 ～

第3回WSでは「住民参画」をテーマに、地元住民や事業者に対し、どのようにしてまちづくり活動への参加を促すか、また「まち並み」をテーマに、これからの行田にふさわしいまち並み景観について、グループに分かれて意見交換（グループワーク）を行いました。

そのなかで、住民参画が進むと住民の意向がまちづくりへ反映されやすくなること、また良好なまち並みが整備されると、満足度のほか、住民にとっては快適性が、来訪者にとっては回遊性が向上されることを共有認識いたしました。

～ 平成27年度まちにぎWS 報告会の予定 ～

報告会 平成28年2月20日(土) 18時～19時  
 行田市商工センター 403研修室